

2019年11月19日

弊社製塵芥車のリコール実施に関するお知らせ

新明和工業株式会社

弊社製品をご使用の皆様へ

平素は弊社製品をご愛顧戴き誠にありがとうございます。

さて、本日、弊社が製造・販売した塵芥車におきましてリコールを実施する旨、国土交通省に届出しましたのでお知らせいたします。

対象車両をご所有のお客様には大変ご迷惑をお掛けすることになり誠に申し訳ございません。弊社からダイレクトメール、電話、直接訪問等により連絡をとり、工事の調整をさせていただきます。お客様からのお問い合わせは、以下の窓口までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

お問い合わせ窓口

以下に記載の新明和オートエンジニアリング(株)の各営業所、特約店、もしくは新明和工業(株)広島工場 品質管理課までご連絡下さい。

(対応時間：月～金曜日の9：00～12：00、13：00～17：00。但し、祝祭日および弊社所定の休日は除きます。)

新明和オートエンジニアリング(株)			
北海道営業所	011-643-3481	中部営業所	052-618-2021
東北営業所	022-236-3438	関西営業所	0798-51-7183
関東営業所	048-793-3000	中国営業所	082-284-6655
東京第一営業所	045-581-1141	九州営業所	092-472-2267
東京第二営業所	03-3628-0661		

特約店			
北富士産業機械(株)	011-582-1191	丸三開発工機(株)	076-451-3513
(株)東奥チーゼル	017-739-1556	北陸環機(株)	076-268-2886
北日本建機工業(株)	019-696-2400	ラビット和歌山(株)	073-423-3266
興立産業(株)総合整備センター	022-283-2091	わこう商会(株)	086-246-2318
陽南自動車(株)	028-634-6331	中国自動車工業(株)	082-246-7577
茨城特殊車輛(株)	029-282-1438	交和自動車(株)	087-867-5710
横浜スバル自動車(株)	045-751-2261	福岡スバル(株)産業機械事業部	092-612-6143
(株)オートメカニック信州	0263-47-9000	浜崎商工(株)	095-838-2233
バン自動車(株)サービス工場	052-824-6510	沖縄ユアサ電池販売(株)	098-877-1355

新明和工業(株) 広島工場 品質管理課	直通 :082-428-8604 フリーダイヤル:0120-278-604
---------------------	--

(1) 不具合の内容

塵芥車の架装レイアウト設計が不適切なため、荷箱ダンプシリンダとデファレンシャルギヤケースの間隙が不足しているものがあります。そのため、リヤアクスルの最大跳ね上がり時にギヤケースがダンプシリンダに接触し、ギヤケースが損傷して潤滑油が漏れ、最悪の場合ギヤが焼き付いて走行不能となるおそれがあります。

(2) 改善の内容

全車両、荷箱ダンプシリンダを対策品に交換します。また、デファレンシャルギヤケースを点検し、ギヤケースが変形している場合は当該ギヤケースを新品に交換します。ギヤケースが破損している場合は、デファレンシャル一式を新品に交換します。

※改善箇所・内容につきましては、「(別紙) 改善箇所説明図」をご参照下さい。

ダンプシリンダ交換工事所要時間は、点検を含めて1台当たり約6時間を見込んでおります。

(3) 対象台数 14台

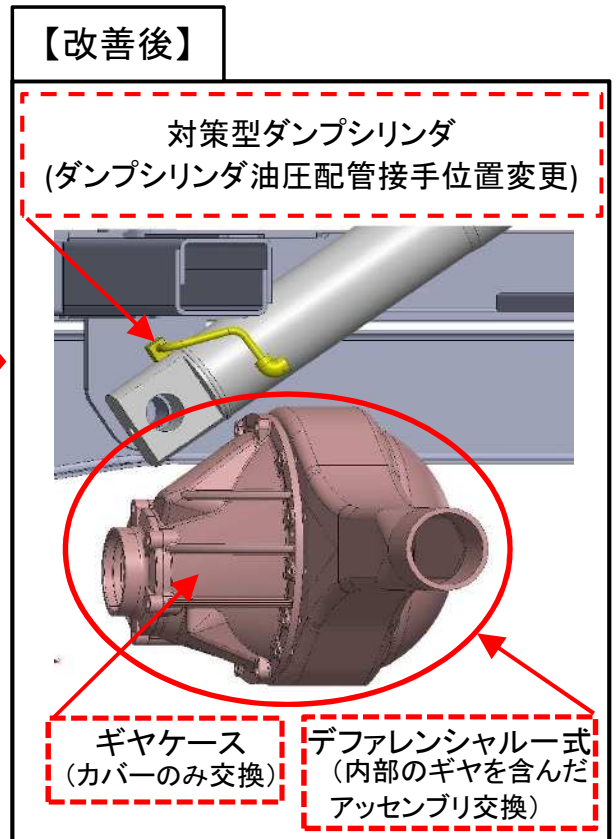
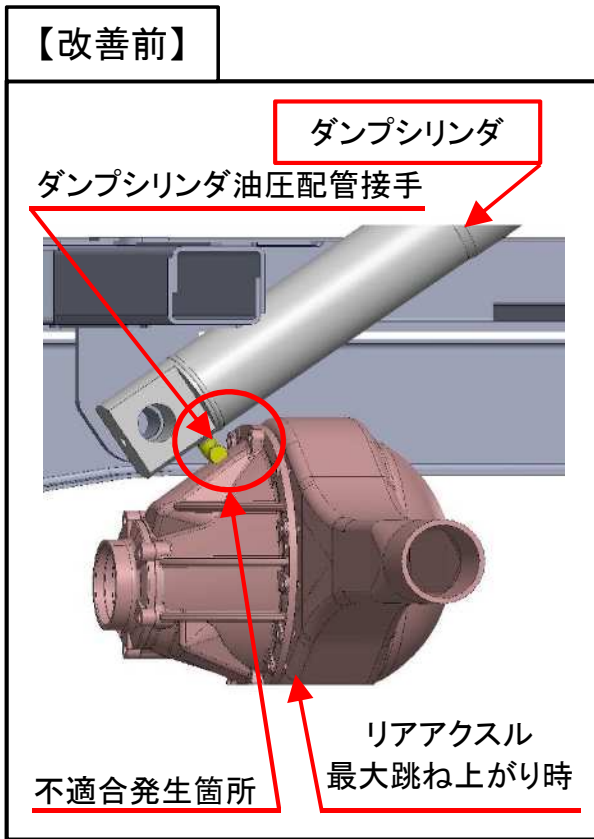
(4) リコール対象車両

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲 及び製作期間	リコール 対象車の 台数
いすゞ	PDG-NPR75N	「エルフ」	NPR75-7008433 平成23年2月20日	1
	TKG-NPR85YN		NPR85Y-7009460 ~ NPR85Y-7014976 平成27年10月7日 ~ 平成29年4月27日	10
	TPG-NPR85AN		NPR85-7080409 平成31年1月31日	1
	2PG-NPR88YN		NPR88Y-7000392 ~ NPR88Y-7001001 平成30年10月12日 ~ 平成30年12月28日	2
	(計6型式)	(計1車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成23年2月20日 ~ 平成31年1月31日	計14台

【注意事項】 リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。

以上

改善箇所説明図



注: は基準不適合部品を示す。
 は交換部品を示す。

塵芥車の架装レイアウト設計が不適切なため、荷箱ダンプシリンダとデファレンシャルギヤケースの間隙が不足しているものがある。そのため、リアアクスルの最大跳ね上がり時にギヤケースがダンプシリンダに接触し、ギヤケースが損傷して潤滑油が漏れ、最悪の場合、ギヤが焼き付いて走行不能になるおそれがある。

改善の内容
 全車両、荷箱ダンプシリンダを対策品に交換する。また、デファレンシャルギヤケースを点検し、ギヤケースが変形している場合は当該ギヤケースを新品に交換する。ギヤケースが破損している場合は、デファレンシャル一式を新品に交換する。

識 別
 改善実施済車両には、運転者席ドアロックストライカー付近にNo.4613のステッカーを貼付する。